

令和7年度 第2回 学校運営協議会



6月19日(木) 6年職業講話の様子

令和7年9月10日(水)13:40～
浜松市立浜名小学校

1 日 程

授業参観	13:40～14:00	各教室
全 体 会	14:00～15:30	多目的室
連絡事項	15:30～15:40	多目的室

2 内 容

- (1) 会長あいさつ
- (2) 校長あいさつ
- (3) 議長の選出
- (4) 前回会議録の確認
- (5) 熟議
 - ① 授業参観の感想

- ② 「学校に関する調査の結果」について

③ 部別協議

	委 員	オブザーバー	学 校
課題検討部	加藤弘明 平野岳子 渡辺東作	望月聡太 金子まなみ	河合勝之
地域体験部	野末将平 高林 正 石井大三	渡邊涼子 協働センター	湯川靖彦
学校支援部	町田幹子 片桐光一 森上彩加	内山益巳 松島一博 中道三枝子	伊藤 充 霜田直美

【課題検討部】（学校運営協議会の活動について）

発達支援教室・校内まなびの教室運営について

- ・校内学びの教室（校内適応指導教室）では、不登校傾向の児童や教室で過ごすことが難しい児童への対応をしている。
- ・月曜日の朝、支援員が勤務するまでの間ボランティアの方が支援をしている。

1年生への支援について

- ・協議会で話し合いをし、1学期には、火・木にボランティアの方が教室に入り、子供の様子を見守っていた。火・木曜日の午後は、その他のボランティアがついている。

交通安全を語る会

- ・安全パトロール隊の方の参加を呼び掛けた。地域の方と児童とを交えて地域の安全について話し合える機会ができてよかった。

○登下校の服装（暑さ対策）

○さわやかあいさつを推進するために

【地域体験部】（本年度の活動について）

9 月 コスモスの種まき

11 月 コスモス鑑賞会

報徳社・小野口の会・・・

○今後の活動について（環境整備等）

○地域学習（校外学習）について

○さわやかあいさつを推進するために

【学校支援部】（ボランティア活動について）

5年生のソーイングボランティア、6年生の職業講話の講師、学年での活動への付き添い等、保護者の方のボランティアが実施されている。2学期にも、引き続き行っていく。

クラブ活動はほとんどのクラブで地域や保護者の方がボランティアを務めてくださっている。

飼育・水かけボランティアについては、交代で務めてくれている。

読み聞かせボランティア・放課後勉強室・安全パトロールなど例年通り活動している。

○活動の様子を広めるために

・委員の方々を子供たちにも知ってもらえる機会を作りたい。

○さわやかあいさつを推進するために

④ 部別報告・全体協議

(6) その他

①学校運営協議会自己評価について

②教育総務課より

次回、第3回学校運営協議会は令和7年12月12日(金)の開催です。

学校評価や学校運営協議会自己評価について話します。保護者と同様の質問用紙にて評価していただく予定です。本日の授業参観や、今後の行事等を参観いただき、評価をしてください。

※ 主な行事予定

校内運動会 令和7年10月18日(土)

まなびの発表会 令和7年12月 9日(火)

浜名小学校運営協議会

委員

	氏 名	
1	加藤 弘明	会長
2	平野 岳子	
3	渡辺 東作	
4	野末 将平	
5	高林 正	副会長
6	森上 彩加	P T A代表グループ
7	石井 大三	小松西自治会長
8	片桐 光一	平口本村自治会長
9	町田 幹子	学校支援コーディネーター

学校支援コーディネーター

	氏 名	
1	金子まなみ	
2	渡邊 涼子	

オブザーバー

	氏 名	
1	中道三枝子	
2	望月 聡太	
3	松島 一博	
4	内山 益巳	
5	井田 正人	浜名協働センター

学校職員

	氏 名	
1	河合 勝之	校長
2	伊藤 充	教頭
3	湯川 靖彦	主幹教諭
4	霜田 直美	CSディレクター

令和7年度 第1回 浜名小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月22日（火）14時00分から15時40分まで
- 2 開催場所 浜名小学校 多目的室
- 3 出席委員 加藤 弘明、平野 岳子、渡辺 東作、高林 正
森上 彩加、片桐 光一、町田 幹子
- 4 欠席委員 石井 大三、野末 将平
- 5 オブザーバー 中道 三枝子、望月 聡太、松島 一博、内山 益巳、
- 6 学校支援コーディネーター 金子 まなみ、渡邊 涼子
- 7 学 校 河合 勝之（校長）、伊藤 充（教頭）、湯川 靖彦（主幹教諭）
霜田 直美（CS ディレクター）
- 8 傍 聴 者 0名
- 9 会議録作成者 CS ディレクター 霜田 直美
- 10 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、高林委員から加藤委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された加藤委員から、高林委員を副会長に指名する旨の報告があった。

11 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、高林委員から会長の加藤委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）今年度の学校経営方針計画について（いじめ防止基本方針を含む）
- （2）今年度の教育活動計画について
- （3）夢育やらまいか事業について

13 会議記録

司会から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校経営方針について

校長から、別紙資料に基づき、本年度の学校経営方針といじめ防止基本方針について説明があった。

（2）教育活動計画について

主幹教諭から教育活動について別紙資料 P14～P17 に基づき説明があった。

（3）夢育やらまいか事業について

教頭から夢育やらまいか事業について別紙資料 P18～19 に基づき説明があった。

（4）部別協議

①学校経営方針、②今年度の目標・活動、③活動をより広めるために

【1：加藤会長、平野委員、渡辺委員、望月オブ、金子CD、校長】

【2：高林委員、渡辺CD、主幹】

【3：町田委員、片桐委員、森上委員、内山オブ、松島オブ、中道オブ、教頭、CSD】

(5) 各部報告

①経営方針について

- ・開かれた学校にするため、運営協議会でいろいろな立場から意見が出されるといい。先生の立場、子供の立場、PTAの立場などからアイデアをもらい、やる事は地域や自治会の力を借りる。案の募集をPTA、自治会にしてはどうか。(内山オブ)
- ・運営協議会と先生方をつなぐ場を設けていきたい。
- ・クラブ活動は、ほぼクラブボランティアの指導によってできている。(教頭)

②今年度の目標・活動、③活動をより広めることについて

- ・運営協議会という名前が固すぎるのでは。(町田委員)
- ・校内などの目につく場所にも活動を知らせるものを置く。(森上委員)
- ・顔写真を校内に掲示し、存在を知ってもらうこと。(松島オブ)

(6) 全体協議

- 協議事項の「(1) 今年度の学校経営方針計画について (いじめ防止基本方針を含む)、(2) 今年度の教育活動計画について、(3) 夢育やらまいか事業について」の3点について、協議の結果、全員意義なくこれを承認した。
- ・挨拶は出来ているように思える。親、子、教員、地域のそれぞれの立場によってとらえ方に差はあるようだが、これからも、みんなで進めていく必要がある。
- ・協議会の周知、教員との繋がりを求めるとしたら長期休暇になってしまう可能性がありそう。進めていきたい。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、9月10日(水)に多目的室で開催する旨の報告があった。

先日は、お忙しい中にもかかわらず「学校評価（前期）アンケート」へ御回答いただき、ありがとうございました。自由記述回答にも多数の貴重な御意見をいただきました。重ねて御礼申し上げます。回答の集約結果をお知らせします。児童、保護者、職員それぞれが質問項目に対して「そう思う」または「だいたいそう思う」と回答した割合（肯定率）は、下記のとおりです。なお、前年度と質問項目が異なるために比較ができないものは、斜線で表示しています。

質問項目		児童		保護者		職員	
		肯定率	（前年比）	肯定率	（前年比）	肯定率	（前年比）
1	1 私は（こどもは）、安心してして楽しい学校生活を送っています。	85.5%	（ -3.9% ）	85.6%	（ 0.4% ）	79.2%	（ -17.8% ）
2	2 私は（こどもは）、学校や家で進んで運動や外遊びをしています。	75.4%	（ -8.6% ）	76.3%	（ -2.0% ）	76.0%	（ -13.0% ）
3	3 私は（こどもは）、「さわやかあいさつ」をしています。	82.1%	（ -4.0% ）	63.1%	（ -3.3% ）	62.5%	（ -4.5% ）
4	4 私は（こどもは）、進んで本読みや書き取り等の宿題を頑張っています。	82.2%	（ -8.4% ）	69.4%	（ -6.7% ）	74.0%	（ -15.0% ）
5	5 私は（こどもは）、粘り強くあきらめない気持ちをもって、頑張っています。	80.7%		64.0%		64.6%	
6	6 私は（こどもは）、できる・分かるようになりたいと思いながら頑張っています。	87.4%		70.1%		76.0%	
7	7 私は（こどもは）、自分の良さが分かり、もっと伸ばしたい気持ちをもって頑張っています。	79.6%		64.6%		67.7%	
8	8 私は（こどもは）、勉強したことがこれから役に立つと思って頑張っています。	87.7%		64.6%		66.7%	
9	9 私は（こどもは）、夢をもって頑張っています。	83.8%		61.4%		65.6%	
10	10 私は（こどもは）、自分の考えを相手に分かりやすく伝えることを頑張っています。	79.3%		66.9%		61.5%	
11	11 私は（こどもは）、相手の話をしっかり聴くことを頑張っています。	86.1%		69.8%		53.1%	
12	12 私は（こどもは）、友達と協力して頑張っています。	90.1%		77.0%		81.3%	
13	13 私は（こどもは）、優しく親切にするという思いやりの気持ちをもって頑張っています。	85.6%		77.3%		57.3%	
14	14 学校は、楽しく分かりやすい授業をしてくれていると思います。	90.4%	（ -6.4% ）	77.4%	（ -10.0% ）	72.9%	（ -10.1% ）
15	15 学校は、いじめのない学校や学級にしようとしてくれていると思います。	86.6%		75.1%	（ -11.2% ）	88.5%	（ -11.5% ）
16	16 学校は、困ったことやいじめが起きたときに、助けてくれていると思います。	89.1%	（ 2.1% ）	71.8%		94.8%	
17	17 学校は、地域の方やおうちの方と協力していると思います。	92.2%		76.1%	（ -14.2% ）	80.2%	（ -19.8% ）
18	18 学校は、電話や面談をしてくれるので、相談しやすいと思います。	85.8%	（ -5.0% ）	77.7%		85.4%	（ -8.6% ）
19	19 学校は、お便りやメール、ブログ等で、学校の様子を伝えてくれています。	86.8%		78.6%	（ -10.5% ）	66.7%	（ 7.7% ）
20	20 学校へ伝えたいことがあれば書いてください。（任意記入）						

<今後の取組や展望に関する考察>

☆ 授業の終末時に学んだことを整理したり、まとめをしたり、振り返ったりする場や時間を設定するよう努めます。

☆ 分かりやすく説明する方法について話し合う場や、友達の意見や感想と比較し合う場や、理由や根拠を明確にして表現する場を意図的・計画的に設定し、定着に向けた支援や指導を心掛けます。

☆ 問題場面を正確に捉えて理解し、式の成り立ちや意味を論理立てて立式するような思考の場や時間を学習活動内に保障し、そのための設定に努める等、柔軟的な対応を心掛けます。

☆ 問題解決を通して習得した知識を日常生活で使い、捉え直す場を計画的に設定します。

☆ 友達と協働して学んだり活動したりする機会や、アイデアを出し合いながら話し合っより良い方法を選択決定する取組を設定することにより、役立ち感や自己肯定感を高め、誰もが安心して充実した生活につなげることができるような意識付けを図ります。

☆ 間違いや失敗を恐れずに挑戦する気持ちを高め、互いに許し合い、助け合う温かい雰囲気や学級づくりを推進します。

☆ 児童が「分かる・楽しい」と感じる学習環境づくりにより一層力を入れていきます。

御質問や御意見に対する回答を個別にさせていただく場合があります。

本調査の結果を有効に活用しながら、今後の学校運営に役立てていきたいと思っています。

令和 7 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和 7 年 4 月に、6 年生を対象とした国語・算数・理科の 3 教科に関する調査及び質問紙による調査（規範意識、自己有用感、地域社会との関わり、生活習慣等 71 項目）を実施しました。調査の結果や今後の手立てについてお知らせします。

1 教科に関する調査

本年度の調査では、**本校の平均正答率が国語・算数・理科の 3 教科においていずれも全国・県・市の平均正答率を上回りました。**

(1) 国 語

【正答率が高かった主な問題内容】

- 図表等を用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する
- 時間や事柄の順序等を考えながら、大まかな内容を捉える
- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる



【課題が見られた主な問題内容と、今後の手立て】

- ▲学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う
 - ⇒国語の授業に限らず、他教科の授業においても、漢字を適切に使い、正しく書く機会を設ける。
 - ⇒漢字の意味や成り立ちへの興味付けや意識付けを図り、家庭学習での書き取りの仕方を工夫する。
- ▲目的に応じて、文章と図表等を結び付けるなどして、必要な情報を見付ける
 - ⇒①文中の接続語や言葉を手掛かりにしながら書き手の意図を考え、話の論点や段落の要点をまとめる
 - ⇒②情報同士の関連付けを明確にする、という手順に沿って活動する学習を展開する。
 - ⇒文字に慣れ、文章に親しむために、読書活動を学校や家庭で一層推進する。

(2) 算 数

【正答率が高かった主な問題内容】

- 異分母分数の加法の計算をする
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだす
- 角の大きさについて理解している



【課題が見られた主な問題内容と、今後の手立て】

- ▲棒グラフから、項目間の関係を読み取る
 - ⇒キーワードや数値を基にしながら問いの内容を正しく読み取ることや、グラフの比較により明らかになったことや見付けた相違点を表現するための適切な手順や方法についての指導を繰り返し行う。
- ▲小数の加法で、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉える
 - ⇒数の大小を比較しながら数値を感覚的に見当付けて通分をしたり、単位をそろえて正しく計算を行ったりする学習の機会を設定する。

(3) 理 科

【正答率が高かった主な問題内容】

- 電気をつくる磁力で、磁石の強さは巻き数で変わるという知識が身に付いている
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現する
- 水は温まると体積が増えることを根拠に海面水位の上昇した理由を予想し、表現する



【課題が見られた主な問題内容と、今後の手立て】

- ▲レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に新たな課題を見だし、表現する
⇒条件付けの目的や違いの理解を促すことで、実験や観察の着眼点・着目点を明確にし、法則や条件を正しく導き出しやすくなるための授業展開を心掛ける。
- ▲顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている
⇒常に実験や観察への意欲を高め、器具を正しく安全に扱う機会を設定することで、器具の操作に慣れるようにする。

2 質問紙による調査

教育活動の3本柱「知育・徳育・体育」のそれぞれで高い値を示す項目がありました。あまり高くない項目も思春期特有の特徴であり、一人一人の成長の証であると考えます。

(1) 知育（学習意欲、学習習慣、主体的・対話的で深い学び等）に関して

【値が高かった項目】

- 学校の学びは、将来の役に立つ ○ICT 機器を使うのは勉強の役に立つ
- 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

【値の低かった項目と、今後の手立て】

- ▲学習したことを生活の中で役立てている
⇒学びの意義や良さ、実社会や実生活との関わりやつながりが実感できる場面を授業で設定する。
- ▲自分と違う意見について考えることが楽しいと感じる
⇒友達と意見を伝え合う時間を十分とる中で、多様な考えがあることを実感するとともに、自分の考えを広げることができるようにする。
- ▲読書を好んでいる
⇒学校や家庭で本に親しめるよう、委員会活動を中心にして読書活動の充実を図る。

(2) 徳育（規範意識、自己有用感、自己肯定感等）に関して

【値が高かった項目】

- 普段の生活で幸せな気持ちになることが多い ○友達関係に満足している
- いじめはどんな理由があってもいけないと考える

【値の低かった項目と、今後の手立て】

- ▲自分には、良いところがあると考え
⇒学校・家庭・地域で褒める場面を意図的に増やし、一人一人の良さを伸ばす。
- ▲将来の夢や目標をもっている
⇒キャリア教育の充実を図るとともに、キャリアパスポートを活用する。
⇒地域の人材を活用し、生き方指導を推進する。
- ▲困ったときに相談できる人がいる
⇒心理的安全性を高め、困ったときは誰にでも相談すれば良いということを折に触れて伝える。

(3) 体育（心身ともに健康的な生活、規則正しい生活習慣等）に関して

【値が高かった項目】

- 朝食を毎日食べている ○毎日同じ時刻に起きている

【値の低かった項目と、今後の手立て】

- ▲毎日同じ時刻に寝ている
⇒メディアとの適切な付き合い方について考える機会を設ける。
⇒学校と家庭が連携して、心身の体調管理や規則正しい生活の見届けをする。

3 個別の調査結果を踏まえた今後の授業改善等について

個別の調査結果は、6年生児童の成績ファイルに入れ、前期の通信票とともに配付します。この調査結果は、得点結果を図るものではなく、学習に対する個人の特性や傾向を知り、「生きる力」につながる総合的な学力を見付ける指標とするためのものです。教科、設問内容、解答・回答形式の違いによる得意分野と不得意分野を見付けるとともに、生活習慣や規範意識、人との関わり等にも目を向けながら、今後の学力向上や心身ともに健やかな成長に役立てていただけたら幸いです。

<文責・主幹教諭（湯川）>

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標

※ 各協議会で追加する項目があれば5以降に設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

（1）教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

（2）教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式1)

学校番号 (小69)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(浜名小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 子供の安全のためにできる活動を、協議会から発信し、活動の輪を広げていく。
- 積極的に情報を発信し、より多くの方に協議会の取り組みを知ってもらえるようにしていきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標